

MC-8

MICROCOMPOSER ¥1,200,000 ●本体、インターフェース

シンセサイザー音楽の制作プロセスを大きく変えるマイクロコンポージャー。

これまでコンピューター音楽の試みは何度となくされてきましたが、それらはコンピューターに対する十分な知識が必要であり、そのためハードとソフトを理解している一部の専門家たちのものでした。マイクロコンポージャーMC-8はマイクロプロセッサーを中心に構成され、コンピューターに対する専門知識を全く必要とせず、ひろく一般の人々にもコンピューターによるシンセサイザー音楽の制作を可能にする画期的なものです。

MC-8登場の背景

今日音楽界はもろもろ商業的や一般の分野でもシンセサイザーはもはや必要不可欠の存在になり、非常に勢いで普及し、確実にシンセサイザー人口が増えつつあります。しかし、これまではキーボードを弾けることが大きな条件であり、多重録音による音楽制作の場合にも、高度な録音テクニックや多くの時間を費しました。しかもダビングの繰り返しによる音質低下という問題もありました。マイクロコンポージャーMC-8は、キーボードをテンキーに置き換え、ある程度の音楽知識があれば、キーボードが弾けなくても、高度な演奏テクニックを要する曲でも、正確に定められたとおり演奏することが可能になっています。もちろんMC-8はテンキーだけでなくキーボードでもコントロールすることができます。8台のシンセサイザーを同時にコントロールすることができるので、音のフェリティーを飛躍的に向上させることも可能になりました。

作曲の分野でも

これまではオーケストレーションの場合、人員、時間、経費等の面での制約も多く、実際に演奏されるまでは正確に作曲者の意図を表現することができませんでした。が、マイクロコンポージャーMC-8は、作曲しながら即座にその音を表現することが可能になりました。(つまりオーケストラを前に置いて作曲するようなものです。)と同時に従来作曲されても演奏する機会が与えられなかった曲はたくさんあり、作曲家の夢はなかなか満たされていませんでした。マイクロコンポージャーMC-8は、これら作曲された曲を簡単に表現することももちろん、長時間にわたる曲ですべてデジタル信号化することで、他の特殊な装置を全く使わずに市販のオーディオカセットテープに記録し、保存することもできます。また、限られた時間に正確に音楽をあてはめる場合、たとえば商業音楽などの場合、従来はテープ編集など非常に高度な技術とキマの細かい作業には大変な時間を要しました。マイクロコンポージャーMC-8は、音程を変えることなくコマンドとついで5秒の単位まで正確に時間をコントロール(延ばしたり、縮めたり)することができます。さらにマイクロコンポージャーMC-8の正確無比な音程、リズムはこれからの音楽教育にも広く活用することができます。これらの多くのメリットをもつマイクロコンポージャーMC-8は、従来の多重録音による音楽制作の概念を大きく変え、さらに発展させ、これからのシンセサイザー音楽に無限の可能性を示します。



●フラット：8チャンネルコントロール電圧(OV-10.56V、127ステップ、83mV/step)をチャンネルゲート出力、並列チャンネルのMPX出力、CV1プログラムによりオシメイトON/OFF可能システム700用DINコネクタ出力端子付 ●インプット：テンキーインプット、外部キーボードによるリアルタイムインプット ●サンボ：最大M.M.L.=284(312sec-10ms/1step) ●メモリ容量：標準4KByte オプション追加より最大16KByte(約1200音標準-5300音最大)ただしV1階及びSeptime、G#(timesのみ) ●使用IC：6800A(CPU)、5KByte PROM、4KByte-16KByte RAM ●外形寸法：本体440(W)×155(H)×406(D)mm、インターフェース303(W)×114(H)×405(D)mm ●重量：本体11kg、インターフェース4.5kg ●消費電力：60W